

第5回定例会 一般質問登壇順 (決定)

登壇順番	議席番号	氏名
1	6	高橋輝彦
2	2	北村嗣雄
3	8	高橋宏
4	10	淀川豊
5	4	高橋和子
6	7	深澤重勝
7	1	刈田敏

一般質問通告書

①

令和 2年 2月 19日

午前(午後) / 時 5分 受領

質問事項	質問要旨(具体的内容)	答弁を求める者
一、林業振興 について	<p>① 鳥獣対策について</p> <p>ア、最近当町に於いて馴染みのない鳥獣被害が増えている。今後益々被害の拡大が予想される。特にイノシシは、広範囲にわたり田畑等の土を掘り荒らしてしまう。今までとは違う対応が必要になってくると思うが対策を伺う。</p> <p>イ、イノシシやシカなどの外来鳥獣は、温暖化により南から北進してきたものと思われる。これらを捕獲し食すことは、セシウムが心配され危険である。もし捕獲した場合セシウム計測に協力してもらい、数値を把握しデータ化しておく必要があると考えるがいかがか。基準値以上であれば注意喚起が必要だし、以下であれば将来的にジビエ産業の可能性もうかがえる。</p> <p>② 森林環境税、譲与税について</p> <p>ア、国が示す市町村への譲与基準は、私有林人工林面積50%、林業就業者数20%、人口30%で按分するとのことで、単純に人口が多く温室効果ガス排出量が多いと思わしき大都市への配分が多額となっている。そのような大都市はペナルティがあっても然るべきであるにもかかわらず、人口に30%のウェイトを置くのはいかがなものか。制度の不公平さを指摘し林野庁に対し譲与基準の見直しを訴えるべきでないか。</p> <p>イ、森林環境譲与税は既に今年度から配分されており、わが町の取り組みは林野庁のホームページにも紹介されているが、木材利用、普及啓発として小中学校に対し森林環境教育を行った。林業を通し町の自然を生かし子供たちに教育することは重要で、どのように継続できるかが課題だと考える。方策を伺う。</p>	町長

上記のとおり通告します。

令和 2年 2月 19日
西和賀町議会議長 高橋 雅一 殿

西和賀町議会議員
議席番号 6 番
氏名 高橋 輝彦



一般質問通告書

②

令和 2年 2月 19日

午前(午後) / 時 5分 受領

質問事項	質問要旨(具体的内容)	答弁を求める者
	<p>ウ、 森林環境譲与税は増額され、更に林業振興が期待される。私有林の開発、自伐型林業普及という課題は大きなハードルであるとする。有資格者である、町の林業地域おこし協力隊と森林組合を中心に、民間の林業就業者との連携を如何に図り、山林所有者をどう取り込んでいくかなど、西和賀型の林業構築が必要ではないか。方策を伺う。</p>	
<p>二、老人医療費助成事業について</p>	<p>◎ この制度は生命尊重の観点からも町の素晴らしい特徴であり、ぜひ継続すべきものであることを念頭に、以下について質問する。</p> <p>① 町は、この制度を70歳へと引き上げを計画しているが、平均寿命を比較すると、老人医療費助成制度開始当時S40年の岩手県の平均寿命は65.9歳。平成27年は83.2歳で西和賀は83.5歳となり両者に差はない。S40年当時も県との差はほぼないと推測すると、約17歳も平均寿命は延びている。当時60歳から無料化を実施していたことから今見直しをするのであれば、町の財政状況も踏まえ今の歯科に合わせ75歳以上とするのが妥当だと考えるがいかがか。</p> <p>② 町は一歳ずつ5年をかけ段階的な引き上げを計画しているが、その必要はないものとする。なぜなら他市町村や全国的に見ても、得をする人はいるがそれによって損をする人はいない。町の財政状況も踏まえ段階的でない一度の引き上げを検討すべきではないか。</p> <p>③ S40年沢内村民の一人当たりの個人所得は、年間115,806円で県内全市町村の平均に対する割合は70.2%であった。この制度は沢内村民が本当に生活の苦しかった時代に始まり、なくてはならない本当に生命尊重の制度であった。しかし現代はこの制度に守られずとも十分生活できる町民は増えている。</p>	<p>町長</p>

上記のとおり通告します。

令和 2年 2月 19日
西和賀町議会議長 高橋 雅一 殿

西和賀町議会議員
議席番号 6 番
氏名 高橋 輝彦



一般質問通告書

③

令和 2年 2月 19日

午前~~午後~~ / 時 5分 受領

質問事項	質問要旨 (具体的内容)	答弁を求める者
	<p>示されている介護保険料の算定基準である所得10段階の5か6段階以上の方には、負担頂くべきと考えるがいかがか。</p> <p>④ H17年西和賀町合併当初人口は約7,700人で町の助成医療費は約4,400万円だったが、H30年は約5,600人で約4,500万円。人口が2,000人以上減ったにも関わらず、助成費は減るどころか増えている。ましてや団塊の世代と言われている方々が70代へ突入することにより負担増が懸念される。これを受けた形で政府は、低所得者への配慮は検討するとしながら、2022年から75歳以上の方の医療保険費窓口負担を1割から2割に引き上げる方針を固めた。そういう時代である。行政が示す年齢の見直しは70歳とのことだがその妥当性と、また歯科の75歳を70歳に引き下げるとのことだがその妥当性を伺う。</p> <p>⑤ この制度は、無料化年齢を75歳に引き上げ更に所得制限を設けることにより、町の助成金を大幅に削減できる。その分で、町内小中学校給食費や、国の保育料無償化制度の対象とならない部分に手当をすること等は、町の「若者定住対策」の大きな柱となり看板となりうるものとする。例えば町内小中学校給食費、保護者負担総額は約1,500万円。これは十分賄えるであろう。ここにシフトすることは有意義ではないか伺う。</p> <p>⑥ 町が示しているこの制度の見直し内容は、様々な視点から考えて見直し内容の見直しが必要でないか。町民に対し、考慮すべきところは考慮し、負担して頂くべきところには負担して頂かなければならないことや、町の財政状況をしっかり詳しく伝え、その上で町民全体のメリットを説明頂ければ、多くの町民に理解いただけるものとするがいかがか。</p>	

上記のとおり通告します。

令和 2年 2月 19日

西和賀町議会議長 高橋 雅一 殿

西和賀町議会議員

議席番号 6 番

氏名 高橋 輝彦



一般質問通告書

④

令和 2年 3月 9日

午前午後 8時20分 受領

質問事項	質問要旨(具体的内容)	答弁を求める者
<p>教育委員会 教育長演述要旨 について</p>	<p>◎ 町の西和賀高校へのかかわり方について 県立高校の再編について後期計画(2021~2025年)が県教委より示された。その中で、小規模校は地方創生の推進に不可欠な地域があるとし、計画期間内は基本的に維持すると発表した。関係者たちが長年訴えてきたことが実った瞬間だ。これからは真に教育長の演述要旨にあったように、「地方創生に向けた高校を核としたまちづくりの推進」が不可欠であり、求められているところである。いよいよ正念場となってきている。今後高校とどのような繋がり方があるのか、具体的に教育長の考えを伺う。</p> <p>◎ 銀河ホールの可能性について 文化創造館「銀河ホール」を通して「地域の歴史や文化の継承と創造」について述べている。H29年度には「どこにもない演劇のまちをつくろう」というスローガンを掲げ事業展開をしていただいた。R2年度は施設改修ということで事業の縮小をせざるを得ない状況ではあるが、改修後は、今まで以上に町民文化の拠点、交流人口の拠点として活用すべきであるし、また新たな可能性についても考え方があればその具体的な方策を伺う。</p>	<p>教育長</p>

上記のとおり通告します。

令和 2年 3月 9日
 西和賀町議会議長 高橋 雅一 殿

西和賀町議会議員
 議席番号 6 番
 氏名 高橋 輝彦



一般質問通告書

①

令和 2 年 2 月 20 日

午前~~(午後)~~ 4 時 50 分 受領

質問事項	質問要旨 (具体的内容)	答弁を 求める者
庁舎について	<p>○旧湯田町、旧沢内村の両町村の合併時、町長は新庁舎の建設計画を合併から 10 年を想定していると示し述べているが、想定通りの取組みができなかったのは何故か、その訳を伺う。</p> <p>○庁舎のあり方検討会について、町職員だけの構成で検討会が持たれたことに住民から異論が出ているが、職員以外を構成員として参入しなかったのは何故か。また、職員のみでの検討で協議が尽くされたと認識しているのか、見解を伺う。</p> <p>○庁舎のあり方について町が提案し、町政懇談会が町内 6 ヶ所で開催されたが、住民の参加が少人数の中で開かれている。住民に十分な周知と理解が得られたと認識しているのか伺う。</p> <p>○これまでの検討会での協議と町政懇談会での説明だけで、住民への周知、十分な説明ができたとは理解できないが再度検討の考えはないのか伺う。</p>	町長

上記のとおり通告します。

令和 2 年 2 月 20 日

西和賀町議会議長 高橋 雅 一 殿

西和賀町議会議員

議席番号 2 番

氏 名 北村 嗣雄



一般質問通告書

②

令和 2 年 3 月 9 日

午前午後 8 時 47 分 受領

質問事項	質問要旨 (具体的内容)	答弁を 求める者
庁舎について	<p>① 『沢内庁舎とする老人福祉センターの改修工事に着手する』とあるが、町長の考え方について</p> <p>○今後の庁舎の在り方に住民の理解が十分得られたと認識していることか伺います。</p> <p>○この施設を沢内庁舎として運営する場合、この施設のみで町内地域の均衡のとれた所管する各課の配置が可能か、各課の配置の考え方を伺います。</p> <p>② 『新庁舎の建設基金の設置について検討する』とあるが、町長の考えを伺います。</p>	町長

上記のとおり通告します。

令和2年3月9日

西和賀町議会議長 高橋雅一 殿

西和賀町議会議員

議席番号 2番

氏名 北村 嗣雄



一般質問通告書

①

令和 2 年 2 月 19 日

午前 / 午後 / 1 時 00 分 受領

質問事項	質問要旨 (具体的内容)	答弁を求める者
<p>公共温泉施設の今後の方針について</p>	<p>○町では昨年末、公共温泉施設の今後の方針について、8施設全て同じ方針を示しましたが、それぞれ施設ごとの利用目的と役割、そしてこれまでの成果をどの様に評価・分析してきたのか。それを踏まえた上で公共温泉として維持すべきか、休業すべきかを判断するという検討はなされてきたのかを伺う。</p> <p>○財政面を考慮するのは当然であるが、それだけで8施設全てを同じテーブルに挙げるのであれば、町は今日までの様なビジョンを持ちそれぞれの公共温泉施設を維持してきたかを伺う。</p> <p>○施設の継続運営を目指すため、売却等の公募を行なうとあるが現在の管理者との協議をどの程度深めた結果、この方針が出てきたのか、公募する業者の見通しと合わせ伺う。</p> <p>○沢内バーデン (株エステック) については、経営改革を含め別途協議するとあるが、現在の沢内バーデン (株エステック) の経営状態をどの様にとらえているのか、又、他の施設と別に協議する事に至った経緯を伺う。</p>	<p>町長</p>

上記のとおり通告します。

令和 2 年 2 月 19 日

西和賀町議会議員 高橋 雅 一 殿

西和賀町議会議員

議席番号 8 番

氏名 高橋 宏



一般質問通告書

②

令和 2 年 3 月 9 日

午前 / 午後 8 時 30 分 受領

質問事項	質問要旨 (具体的内容)	答弁を求める者
<p>施政方針演述について</p>	<p>令和元年度は、県立大教授をアドバイザーとして迎え合併特例終了後の財政規模縮小対策として、「庁舎」「老人医療費助成制度」「温泉施設」の対応策をまとめ令和2年度は「中期財政計画」を策定するに当たり、関西学院大学の教授の指導を頂く予定ということでした。</p> <p>西和賀町は、日本がこれから迎える超高齢化社会を生きていく上で、町外の有識者の提言に頼っていいのでしょうか。</p> <p>この町に生活しているからこそその発想・提案を基本に、アドバイスを受けるべきと考えますが町長の認識を伺う。</p>	<p>町長</p>
<p>教育長演述について</p>	<p>子ども達の生きる力を育むための指針として、望ましい生活習慣の確立に取り組むとあるが、現在、コロナウイルス対策のため、町内の小中学校は3月2日から4月の始業時まで休校中であります。子ども達の健康を守るため、必要な措置であることは理解していますが、一ヶ月以上の休校を西和賀の子ども達は経験したことがありません。</p> <p>長期休暇による様々な悪影響が想定されます。少人数での登校も検討すべきと考えますが対応策について伺う。</p>	<p>教育長</p>

上記のとおり通告します。

令和 2 年 3 月 9 日

西和賀町議会議長 高橋 雅 一 殿

西和賀町議会議員

議席番号 8 番

氏名 高橋 宏



一般質問通告書

①

令和 2年2月20日

午前(午後) 1 時 5 分 受領

質問事項	質問要旨 (具体的内容)	答弁を 求める者
<p>これからの 地域運営全般 について</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 合併当時の調整事項として、「10年間は・当面」等の表現がされた項目はどの程度あったのか伺う。 ・ 当時、合併にあたり両町村間で調整が難しかった事項について、「10年間は・当面」等の表記がされたと認識しているが、合併を推し進めた当事者であった町長の認識を伺う。 ・ 当時の調整事項については合併協議会やまちづくり委員会等で広く議論され調整されたと記憶しています。今後のあり方についても、地域全体で議論され、これからのあり方を調整する必要があると思うが、その点についての基本的な考え方を伺う。 ・ 合併時の調整事項の中で、「10年間は・当面」といった条件付きで調整された事項については、現状においてこれからどのようにしていくのか、その方向性を明確にしないままでは、合併から15年が経過しても不十分な合併となってしまうのではないかと感じている。15年前に両町村が合併したことを完全なものとするためにも、条件付きで調整された事項については広く議論され、新しい時代の方向性を明確化していかなければならないと感じるがその点について伺う。 	<p>町長</p>

上記のとおり通告します。

令和2年2月20日

西和賀町議会議員 高橋雅一 殿

西和賀町議会議員

議席番号 10番

氏名 淀川 豊



一般質問通告書

②

令和 2年 3月 9日

午前 8 時 43 分 受領

質問事項	質問要旨(具体的内容)	答弁を 求める者
<p>施政方針 演述に ついて</p>	<p>◎東京オリンピック・パラリンピック関連</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ホストタウンとしての具体的な計画があれば伺う。 <p>◎役場庁舎について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基本方針の現在ある施設の有効活用という考え方は役場庁舎以外の町政全般に共通的な考え方なのかその真意を伺う。 ・役場庁舎の建設については、建設ありきではなく、地域全体でこれからの西和賀を考える中で方向づけられることが重要であると考えています。つまり、地域全体でこれからの将来について議論することを今やらなければならないという認識であり、このことをこれまで訴えてきたつもりですが、その議論なしに「新庁舎建設基金」の設置の検討を行うつもりなのか伺う。 <p>◎産業領域について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農業振興における農業生産基盤の整備の具体的な取り組みについて伺う。 ・酪農家で現状における拡大志向農家数はどれくらいあるのか伺う。 ・畜産振興では拡大志向農家等への支援をうたっているが、拡大志向ではない特色を生かした生産体制等を志向する農家への支援は考えていないのか伺う。 ・林業振興の中で地域林政アドバイザーの雇用を予定しているが、その構想の詳細について伺う。 ・商工振興について、人口減少に伴う地域経済の縮小等がより進行すると予想される中で、地域の事業者の動向等を注視しながら、より緊密に連携を図っていくことが重要と思うがその点について伺う。 <p>◎生活領域について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・6月末の消防庁舎の完成に向けて、現在、使用されている施設等については、その後どのように考えているのか伺う。 	<p>町長</p>

上記のとおり通告します。

令和2年3月9日

西和賀町議会議長 高橋 雅 一 殿

西和賀町議会議員

議席番号 10番

氏名 淀川 豊



一般質問通告書

①

令和 2年2月20日
午前(午後) 4時 35分 受領

質問事項	質問要旨(具体的内容)	答弁を 求める者
地球温暖化について	<p>①地球温暖化による災害防止のためCO2抑制の対策が大事だと言われている。当町においての対策はどこまで進行し、実施されているか伺う。</p> <p>②他市町村では太陽光発電が拡大され、電力の生産が増加している。その際に水害や土砂災害のひき金になるような土地利用もあり、設置条件に条例による規制の強化が必要だという自治体もある。当町は豪雪地であり設置が困難ということもあるがどのような動向か伺う。</p>	町長
新型コロナウイルスについて	<p>新型コロナウイルスの感染状況が「流行」となっているとマスコミが連日取り上げている。</p> <p>医療機関への県や国からの指導もあると思われるが、どのような内容か伺う。また、もし当町で患者が発生したときはどういう対応がとられるか伺う。</p>	町長

上記のとおり通告します。

令和2年2月20日

西和賀町議会議員 高橋雅一 殿

西和賀町議会議員

議席番号 4番

氏名 高橋和子



一般質問通告書

②

令和 2年3月9日

午前午後 8時 00分 受領

質問事項	質問要旨 (具体的内容)	答弁を 求める者
人口対策について	<p>○総合戦略について</p> <p>① 『「まち・ひと・しごと創生総合戦略」は一年間の計画延長とし、効果ある人口減対策として、次期総合戦略策定を行う。』と 言うことですが、現時点で把握されている成果と、今後取り組むべき事項について伺う。</p> <p>② 『「ふるさと振興課」と連携のもと、人口減少に対応する地域活動の維持強化を踏まえ、地域拠点の必要性及びその在り方を検討する……。また、地域活動を担う次世代の地域人材の育成にも取り組む』とのことですが、具体策を伺う。</p>	町長 教育長
教育職の勤務負担軽減について	<p>教職員の長時間勤務の改善や業務負担軽減のため「統合型校務支援システム」の導入を行うとのこと。</p> <p>教職員の激務が全国的に問題になり、児童・生徒への影響が心配されるとの報道もあるが、町での実態はどの程度か。また、導入するシステムはどのようなものか伺う。</p>	教育長

上記のとおり通告します。

令和2年3月9日

西和賀町議会議員 高橋雅一 殿

西和賀町議会議員

議席番号 4番

氏名 高橋和子



質問事項	質問要旨 (具体的内容)	答弁を 求める者
1. 庁舎のあり方について	<p>○庁舎のあり方について、昨年突然と言ってもいいような状態で、町政懇談会の内容について情報提供という形と全員協議会において方針とスケジュールが示されました。これらについて以下の通り伺います。</p> <p>①昨年の町政懇談会の結果をどのように集約されたのか伺う。</p> <p>②「分庁舎方式を継続する」とあるが、合併協定書の「両町村のバランスを考慮する」に対して、どのように考えるか伺う。</p> <p>③「沢内庁舎開発総合センターは、改修による長寿命化が難しいことから解体年度まで示して、解体する」とあるが、平成 21 年度に実施した耐震診断の結果についてどのような扱いをしたか。また、診断結果を踏まえ速やかに耐震工事を実施していれば 1,690 万円で済んでいたと考えられるが、何故実施しなかったのか。令和元年 12 月定例会において同僚議員が質問しているが、確認の意味も含めて改めて伺う。</p> <p>④平成 30 年度に実施した劣化調査の結果を踏まえてとの説明も受けたが、沢内庁舎開発総合センターの耐震工事（鉄筋コンクリート増設壁接着工法）の概算見積りも含めてどのように検討したか伺う。</p> <p>⑤「湯田庁舎は、耐震工事を含め全体的に必要な工事を実施し、長寿命化を図り引き続き庁舎として使用する」とあるが、計画している改修費用の総額はいくらか。また、湯田庁舎へ何課を移動し、湯田庁舎、沢内庁舎それぞれの職員数は何人となるか伺う。</p> <p>⑥新庁舎の建設について、どのような考えか伺う。</p>	町長

上記のとおり通告します。

令和 2 年 2 月 19 日

西和賀町議会議長 高橋 雅 一 殿

西和賀町議会議員

議席番号 7 番

氏 名 深澤 重勝



一般質問通告書

令和 2 年 2 月 19 日

午前/午後 8 時 45 分 受領

質問事項	質問要旨(具体的内容)	答弁を求める者
西和賀町まちづくり	「西和賀町まちづくり基本条例」は新しい町としての	町長
基本条例について	まちづくりの基本ルールとして、町民、議会、行政の 三者がそれぞれの役割を認識し、町民が主体的にまち づくりに関わっていく事を目的として平成24年1月1日 から施行されている、現状について伺う。 ○第8章 参画と協働について、第16条に協働によるまち づくりを推進するための制度を整備するとあるが、制度の 整備の状況と、実際どのような協働が行われているのか。 ○第9章 地域コミュニティについて、町と地域コミュニ ティ関係は現状どのようなになっているのか。 ○第11章 行財政運営 第21条組織について現状ではど のような考えを持っているのか。 第27条の意見・要望・苦情等に対する対応はどのように なっているか。 ○第13章 条例の検証及び見直しについて検討をしている のか。	教育長
観光産業の振興 について	第2次西和賀町総合計画(3)観光の振興について伺う。 ○ 具体的施策にある「農産物の情報発信と外部交流 システムの確立」の考え方について ○ 町が考えている交流人口とは何か 冬季のイベントについて伺う。 ○ 今後の冬季イベントの将来性について ○ 雪不足に対する対策について	

上記のとおり通告します。

令和 2 年 2 月 19 日

西和賀町議会議長 高橋 雅 一 殿

西和賀町議会議員

議席番号 1 番

氏名 刈田 敏

